

# 決算特別委員会



## 決算審議

決算特別委員会に付託された案件は7件。

9月21日に開催し、審査を行いました。

## 総務部



**問** 収納率が向上しているが、その要因は。

**答** 新規の取り組みはないが、24年度より順次、24時間コンビニで納付可能となったため。

**問** 放置自転車の現状は。

**答** シルバー人材センターに駐輪場維持など委託している。放置台数は、28年度225台、29年度202台。



▲一時預かり所に保管される放置自転車

**問** 自主財源の確保について、市の考えは。

**答** 所有する土地の売却、貸付を進めたい。また、先進市町を参考に、積極的に広告収入の増加に努めている。

## 開発部



**問** 車新田地区の市街地整備事業は。

**答** 27年度より7回地域勉強会を開催。29年度は、世話人会を立ち上げ、概略検討図および概略減歩率などを2案件



成し、関係者に示した。今後、関係者を継続していく。

**問** 公共下水道の接続率は。

**答** 29年度新設の接続率は4・3%。全体では、41・6%。

**問** きんちゃんLINEスタンプの実績は。

**答** 7月末現在で、販売件数は635件、収入金額は2万6695円。売上金額は、概算で7万6200円程度。



きんちゃんLINEスタンプはこちらから購入可能

## 民生部



**問** 児童クラブ利用者数が増えているが、その対応は

**答** 全児童クラブ合わせて50人増えた。いずれも定員以内のため適切に対応した。

**問** 病児・病後児保育のキャンセル料は。

**答** 午前8時までに連絡があった場合は発生しない。

**問** 午前8時以降は利用予約時間数の半額。無断でキャンセルの場合は全額。

**問** 給食サービス事業、喫茶室利用券の内訳は。

**答** 総合福祉センターは6032枚、十四山総合福祉センターは2252枚。

## 教育部



**問** 図書館の蔵書数が減少している理由は。

**答** 29年度の購入と寄贈の冊数が4309冊。除籍冊数が5210冊で、901冊の減。主な理由は閉架書庫の余裕がなくなったため。



◀病児・病後児保育施設「えがお」(前ヶ須町地内)



**問** 市単独分の私立高校授業料補助額は。

**答** 年額上限1万円

付託された案件は全て原案を了承しました。